

## 「<sup>ついでひじ</sup>下<sup>しも</sup>香<sup>か</sup>取<sup>とり</sup>神社<sup>しんじや</sup>庚<sup>こう</sup>申<sup>しん</sup>塔<sup>とう</sup>群<sup>ぐん</sup>」

松伏町指定有形民俗文化財  
昭和58年11月16日指定

<sup>しもかとり</sup>下香取神社（<sup>ついでひじ</sup>大字築比地）の入り口には、<sup>こうしんとう</sup>庚申塔11基が整然と並んでいます。<sup>きょうほう</sup>享保元年（1716）～<sup>めいじ</sup>明治7年（1874）までに造立されたもので、様々な形態の庚申塔を見ることができます。最初から神社にあったものばかりではなく、近隣の路傍から移されたものなどを含みますが、ミニ庚申塔博物館ともいえる眺めです。

